

旭川市では北海道の農林水産物の集散地、
国内有数の水田地帯である地域特性を活かし
「食品関連産業」の誘致に重点的に取り組んでいます。



旭川市内のソバ畑

お問い合わせ先

旭川市経済部企業立地課
〒070-8525 北海道旭川市6条通10丁目第三庁舎3階
TEL:0166-25-9172 FAX:0166-26-7093
E-mail:kigyoritchi@city.asahikawa.lg.jp

旭川地域企業誘致東京サテライトオフィス
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17 永田町ほっかいどうスクエア3階311号室
TEL:03-6206-1665 FAX:03-6206-1675
E-mail:tokyo_office@city.asahikawa.lg.jp



立地企業インタビュー

① 自社について

私たちは、昭和58年8月に旭川市で創業し、一貫して米穀の集荷販売を行ってまいりました。国内最大の食料基地である北海道から豊かな自然環境に育まれたお米を、一般家庭をはじめ外食チェーンやホテル、病院等、全国各地にお届けしています。国内屈指の設備陣容を誇る工場では8つの生産ラインを擁し、主食用精米から加工用原料米まで、幅広いニーズに対応した米穀製品を製造・販売しており、生産者の方々と密接な繋がりを通じて、消費者ニーズにお応えする取組も行っています。

② 旭川への立地の利点

旭川は、地震や洪水等の災害が少ないというメリットはもちろんですが、私たち食品関連業者としては、多品目の農産物が生産されている点が非常に大きなメリットです。どの品目も国内で1、2を争う生産地という訳ではないのですが、生産地が近いという優位性を活かし、企業の要望に応じて、様々なチャレンジが可能な地域であると思っています。

③ 今後の展望

国内のお米の消費量は、調理時間の短縮化や食品の多様化等の要因から、年々下降している状況です。中でも私たちはおいしいお米を提供し続けるため、生産者及び消費者のニーズに適したお米作りを行うべく、令和2年には本州企業と合弁会社を設立しました。今後は道産の規格外米のさらなるシェア拡大や旭川の地酒用精米事業への着手、その他の穀類の利用にもチャレンジし、これらを通じてWin=Winの関係に、食の原点を笑顔と感謝で結ぶ仕事に取り組んでまいります。



株式会社高橋商事

代表取締役社長 高橋 伸也

所在地 北海道旭川市永山町8丁目147番地1

創業 昭和58年8月

事業内容 主食用米、醸造米、米菓子用米、米加工用原料の集荷・精米加工・販売事業

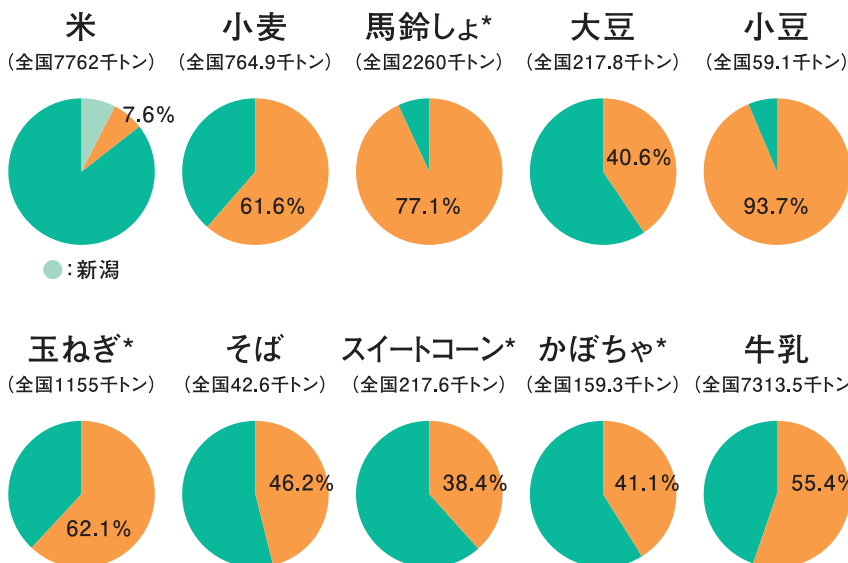
従業員数 51名

北海道農畜産物のシェア

出典：農林水産省統計情報

●：北海道 ●：その他

*は平成30年度、それ以外は令和1年度



北海道は、国内耕地面積の約4分の1を有する一大農業地帯であり、国内シェア1位を誇る農畜産物が多く、食料自給率が204% (平成29年度) の食料大国です。なかでも旭川市は、米の生産量道内1位 (38,300t)・作付面積道内2位 (6,160ha) であることをはじめ、全国的に有名な江丹別そばや大豆等の穀類、低農薬のクリーンな野菜等、少量多品目 (約60品目) で生産されていることが特徴です。



「北の恵み 食べマルシェ」は、多彩で豊かな食の供給基地である北北海道の特色を広く全国に発信するイベントです。9月の敬老の日を含む3日間開催され、毎年多くの方々と賑わい、北北海道を代表するグルメイベントとして定着しています。